

find.fUKUI WONDERS

02

2017.3



□ なわとびから見る
福井の教育と気候と働き方と
遠藤富美夫／川端弘樹／嶋本祥之／千々布敏弥／森口明利

□ FUKUI INSPIRATIONAL TOUR
ナビゲーター 高島健

□ 美味しんわ □ 恐竜のいる風景
□ 社長はつらいよ 増田喜一郎＋喜生＋喜文

□ タイムトリップ福井新聞
▽ 1959.8.2 杉本雅明／朝倉行宣

□ 帰ってきた！ トンマナオデサン
手差ユニッツ

実は、福井は、子どもの学力・体力全国トップクラス！
その理由は、室内スポーツが盛んだから？！

「なわとび」から見る

インタビューと寄稿
各分野の専門家に
教えていただきました！

福井の教育と気候と働き方と、

【体力】の視点

川端弘樹さん
福井市教育委員会保健給食課

体育教諭として約20年福井市内の小学校で子どもたちを指導し、現在は教員の指導に携わっている。



福井市内では場所を選ばず全身運動ができることから、伝統的に体育の授業で縄跳びを行っています。心肺機能やリズム感、巧緻性や敏捷性などが鍛えられるほか、「何回跳べた！」「あの技ができた！」など、上達を実感しやすい利点があるんですよ。小学校では冬の時期に縄跳び大会があり、休み時間には廊下などで所狭しと縄跳びに励む光景が風物詩となっています。個人種目だけでなくクラス全員による「大縄跳び」も行われ、子ども同士が励まし合い、クラスの絆が深まる効果もあります。



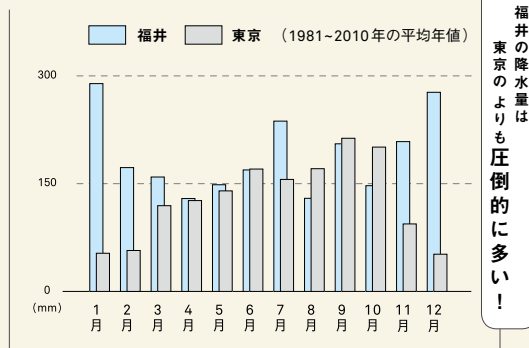
【気候】の視点

嶋本祥之さん
日本気象予報士会北陸支部副支部長

大学卒業後、仕事の傍ら自宅で勉強し、2013年、29歳のときに気象予報士の資格取得。好きな天気は「粉雪」。

福井の冬の日照時間は、東京の3分の1しかありません。毎日のように曇りか雨、雪。雷もよく鳴り、47都道府県で比べると、年間約35日発生する福井市が金沢市に次いで全国2番目の多さ。毎日晴れる太平洋側の天気と真逆なのです。なので、冬の体育はほとんど室内。多くの小学校で縄跳びの授業があります。リオ五輪でも活躍したバドミントン女子・山口茜選手の出身地は雪深い勝山市です。室内競技が盛んなのも積雪の多さが少しは影響しているのかもしれない。

福井と東京の年間平均降水量



【勤労】の視点

遠藤富美夫さん
福井新聞社論説委員長

編集局各部の記者などを経験し「地方こそ人生あり」を信条とする。現在は主に1面コラム「越山若水」執筆。



冬のなわとびほど嫌なものはない。なかでも強く速く回す二重、三重とびは、失敗すればビシッとつま先を、足首を、時には耳を、ムチ打たれる羽目になる。猛烈に痛い。涙目で耐える。その辛抱あればこそ福井人は、勤めた会社を簡単には辞めない。といっても、ただ耐えるだけではない。単調と見えるなわとびにもコツがあるのを、福井の子どもは発見し体得していく。おかげで、どんな仕事にも喜びを見いだす才能を併せ持つのである。



【技術】の視点

森口明利さん
なわとびパフォーマンス

福井市出身。大学在学中に縄跳びの技に魅了され、自身でも技を開発。2017年には世界初の7重跳びに成功した。



縄跳びは「跳ぶ」動作と縄を「回す」動作を同時に行うもの。まずはいきなり跳ぼうとせず、跳ぶ動作と回す動作を分割して練習すると上達が早いと思います。たとえば、三重跳びの練習も、二重跳びより高くジャンプする練習と早く縄を回す練習を分けてやってみると効果的です。縄は肩や肘から回すのではなく、手首からコンパクトに回すよう心がけてみると、より早く回すことができます。



S トードOC(4重跳び系の技)
⇒ トード跳び(足の下で交差跳び)
<https://www.youtube.com/watch?v=S9I2Uj36Ry0>



3重跳び
⇒ 7重跳び
<https://www.youtube.com/watch?v=CJ4INeguen4>

トードとは？
交差とびの発展技で、片足を上げ、交差跳びの左右どちらかの腕を足の下に通すフリースタイルの技です。練習のコツはまずは跳ばずに足を上げてトードの形をつくる練習からはじめてみましょう。腕を足の下に通すときに、より奥に腕を通そうと意識してみるとうまくいきやすいですよ。

【学力】の視点

千々布敏弥さん
国立教育政策研究所総括研究官

福井県に研修生として来た他県の教師たちが福井の強みを分析する「福井らしさを探る会」のアドバイザーを3年間務める。福井の応援団を自称。



福井の子どもは一つひとつの動きが機敏で、勉強もスポーツも高いレベルで「当たり前」のように取り組んでいる。全国的にみて宿題の多い福井は、それをやるのも、できずに放課後残るのも「当たり前」。下支えする教師も、授業についてこれない子どもがいたら、補習をするのが「当たり前」。子どもも教師も高いレベルで当たり前の文化を維持している。縄跳びを通して身につく動きの良さや粘り強さが、福井の「当たり前」をつくっているのかもしれない。



FUKUI INSPIRATIONAL TOUR

福井ってどんな場所？

という声にお応えし、想像力/創造力をぐっと引き出してくれる、魅力的な場所を地元ナビゲーターがご案内。

今回のナビゲーター



高島 健さん

(福井新聞社 社会部記者)
全国の地方紙の中でトップの県内普及率(71%)を誇る福井新聞の記者。記者自ら福井のまちづくりに携わる「まちづくり企画班」として活動を展開中。

今回は、一乗・東郷エリアをご紹介します！

一乗谷朝倉氏遺跡

福井市城戸ノ内町
見学時間:9:00~17:00(入場は16:30まで)
見学無料(一部有料) 年中無休(年末年始は休み)

福井駅から車で20分ほどの場所にある「一乗谷朝倉氏遺跡」は、戦国武将朝倉氏の城下町だった場所。織田信長に攻められて、3日間燃え続け、あっという間に廃墟となってしまったことから「日本のポンペイ」とも言われている。

Navigator's Comment

ガイドさんによる案内がオススメ！なかでも朝倉氏遺跡保存協会の名物会長・岸田さんのガイドは天下一品です。歴史が身近になり、さらにおもしろくなりますよ。

朝倉膳

福井市東新町1-21(一乗ふるさと交流館)
定休日:月曜日



Navigator's Comment

一乗地区の伝承料理を集めた「朝倉膳」は、冬の時期に雪に閉ざされ食料が限られた状況下で、昔の人が知恵を絞ったおもてなし料理。一の膳、二の膳からなる料理は一品一品滋味深い。受付は10人以上からで1週間前までの予約が必要。

朝倉膳の仕込みは、地元のお母さんたちが前日から始めているそう。心を込めてつくられた「ごまころ」や大豆を1時間以上かけて擦ってつくった「呉汁」は絶品ですよ！

亭(ちん)の水

福井市高尾町 薬師社境内



一乗谷朝倉氏遺跡からも近い高尾町の集落を登った、薬師神社の岩から湧き出る霊泉。その昔、朝倉孝景に招かれた、医者・谷野一柏が眼病に効くとして薬の調剤に用いたと言われており、今も多くの人が水を汲みに訪れている。

Navigator's Comment

市内でも有名な名水のひとつ。住宅地に近いにもかかわらず、自然豊かで、ちょっとしたハイキングにもぴったりです。散策する時はクマに気をつけてくださいね。

東郷地区のまちなみ

福井市東郷二ヶ町



東郷地区の真ん中には、清らかな堂田川(どうでんがわ)。きれいな水を使った米づくりや酒づくりも盛んです。自慢の酒蔵「毛利酒造」「安本酒造」、400年以上の歴史を持つ滋養強壯の霊酒を扱う「青木蘭麿(らんじゃ)堂」もおすすめ。

Navigator's Comment

一乗谷から車で5分ほどの東郷地区は、私の地元でもあります。毎年夏には「おつくね祭(方言で「おにぎり」の意味)というお米にちなんだ楽しいお祭りが行われます。

照恩寺のテクノ法要

福井市東郷二ヶ町36-9
※テクノ法要は毎年5月3日、10月25日に開催



浄土真宗本願寺派「照恩寺」で執り行われているのは、お経とテクノを融合した「テクノ法要」。プロDJの経歴を持つ住職の「若い世代にもお寺に足を運んでもらいたい」という想いからはじまり、国内外で話題となっている。

Navigator's Comment

音と映像、照明を駆使した「正信偈(しょうしんげ)」などのお勤めを体感すると、まるで極楽浄土の世界をのぞいたような気分になる。旅の締めにはぴったりですよ。

美味しんわ 神話

不思議な風習の裏側には、こんな物語が隠れていました。



福井市網戸瀬に伝わる、
キュウリ栽培はご法度！

の裏側には、

雷鳴に驚いたササノオノミコトが慌ててキュウリ棚に逃げ込んだところ、棚の柱が片方の目に刺さって、失明！以来、キュウリ嫌いになったそう。



Illustration: Toshino Mori

なんと!! 毎年7月14日のキュウリ祭りの日は、食べることも禁じられているそうです！

恐竜のいる風景



福井駅近くで出会える恐竜たちをご紹介します！

「福井を歩けば、神にあたる」ならぬ、「福井を歩けば、恐竜にあたる?」

社長は つらいよ

福井は、社長輩出率 NO.1。
ねえ、ねえ、その社長さん、お悩みごとないですか？

株式会社増田喜 代表取締役社長 増田喜一郎さん

「福井の紙ゴミをリサイクルして、子どもたちの笑顔を守りたい！」

古紙の再生が環境美化につながり、福井の美しいまちが目に浮かびますね。



おやじ!!
いつも僕たちのことを考えてくれてありがとう。夢に向かって頑張って！
(喜生くん/中学3年生)
お父さんのやりたいことなら、いくらでも応援するよ！頑張ってるね。
(喜文くん/小学6年生)

タイムトリップ福井新聞

BACK TO

◀◀ ◀◀

1959/08/02



福井新聞(1899年創刊!)がかかえる膨大な記事アーカイブをさかのぼり、当時の出来事から現在/未来を2つの視点で紡ぐタイムトリップコラム。

福井で伝わる技術は
想いを伝える機器をつくる

福井にテレビ放送局がやってきた1959年、もはや戦後ではないと言われた1956年から3年たち、白物家電の三種の神器の一つであるテレビはすでに茶の間に入りはじめていた。その電波が届くのを待つ各家庭の期待感、記事から手に取るようにわかる。人にある、誰かに何かを伝えたい、届けたいという想いは不変である。今はその多くをスマートフォンが担いつつあるが、そのスマートフォンにも当時のテレビやラジオにも使われているコンデンサを生産し続けているのが、高い技術を持つ福井の企業である。越前焼から続くセラミック関連技術は、窯業試験場の石炭炉の中で戦後の日本を支える技術に焼結したのだ。いつだって我々は、この技術を伝えたい、もっと良くして届けたいという想いの上に生活していることを、越前焼のぐい呑で日本酒を味わいつつ、スマホで知った片町の夜は印象的だった。



杉本 雅明さん

AgIC株式会社 取締役
温泉研究で修士。大学の横ではじめて喫茶店の常連仲間と東大発ベンチャーを創業。



提供: 福井県文書館

今回取り上げた
新聞は…… ◀◀ ◀◀

「福井新聞」
昭和34年8月2日刊

同年8月3日に開局されるNHK福井テレビが、8月1日より試験放送と開局記念行事を連日実施。福井市公会堂にて会館式が行われ、テレビの仕組みを伝える図式や各メーカーのテレビが並び試験電波を競映。開局を伝える花電車が市内を走るなど、地域をあげて地元メディアの立ち上げを祝った。

メディアは心を伝える
心は時代を動かす

人は情報の伝達方法を、口伝えから、手紙、出版、電話、放送、ネットとメディアを発達させながら歩んできた。いつの時代も人々の「伝えたい」という「心」がこの発展の鍵だと感じる。蓮如上人は越前から「手紙」というメディアを用いて「親鸞聖人の教えを信じる心」を全国に伝えた。上人の言葉に心を動かされた方々が、さらにその心を伝え、浄土真宗は拡散し大きく成長した。今「仏教を身近に」という僕の心がテクノ法要となって各種メディアで紹介された。福井・日本全国・世界から反響は想像以上で、深い感謝とともに、拡散スピードと広さに驚く。「情報の拡散」は、メディアが違っても、いつの時代でも繰り返される。福井から「素晴らしいモノを届けたい」という心は、農林水産業や伝統工芸・産業を支える方もメディアに携わる方も僕も同じ。この心が時代を動かす力となる。

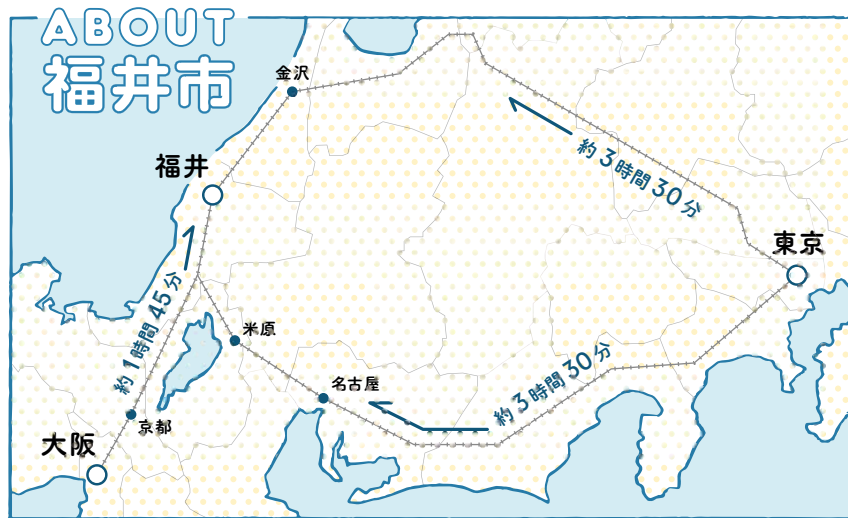


朝倉 行宣さん

浄土真宗本願寺派 照恩寺17代住職
1967年生まれ福井市在住。2015年に住職を継承し、翌2016年からテクノ法要を開始。



本漫画は、大正14年6月2日より掲載された福井新聞初の4コマ漫画「トナマナオチサン」をモチーフにしています。



日本から見た福井市

日本列島のへそに位置する福井県。その北部、福井平野にある福井市は、海・山・田園と豊かな自然に囲まれたまちです。これまで戦災や震災の度重なる災害に見舞われても復興を成し遂げてきた市民の姿勢を讃え、「不死鳥のまち」を掲げています。



福井のここが日本一!

社長輩出率、三世代同居率、女性有業率、油揚げ購入金額 (*2016年度現在)

データ

面積	536.41km ²
人口	265,771人(2017年1月現在)
気候	平均気温 夏期:24.8°C 冬期:4.1°C 年降水量:2237.6mm (東京:1528.8mm)
特産品名物	コシヒカリ、越前がに、油揚げ、おろしそば、水ようかん、ソースカツ丼
産業	繊維、化学
主な交通	自動車、電車(JR、えちぜん鉄道、福井鉄道)、バス(京福バス)

実施主体: 未来につなぐ ふくい魅える化プロジェクト
主宰: 福井市 協力: 福井大学産学官連携本部、株式会社福井銀行、株式会社福井新聞社 運営: 株式会社リ・パブリック、株式会社福井新聞社

『find.fUKUI WONDERS』

発行日: 2017年3月25日 発行元: 福井市 監修: 株式会社リ・パブリック、株式会社福井新聞社 編集ディレクション&編集: MUESUM(多田智美、永江大) 編集協力: 石原藍 アートディレクション&デザイン: UMA/design farm(原田祐馬、西野亮介、平川かな江) 撮影: 片岡杏子、出地瑠以

未来につなぐ ふくい魅える化プロジェクト

make.fUKUI WONDERS

<http://makef.jp/>

*『find.fUKUI WONDERS』は、「未来につなぐ ふくい魅える化プロジェクト」の一環で発行しています。プロジェクトの詳細は、ウェブサイト(<http://makef.jp/>)をご覧ください。